

○小野寺委員長 この際、山井和則君から関連質疑の申出があります。大西君の持ち時間の範囲内でこれを許します。山井和則君。

○山井委員 まず最初に、能登半島地震における被災者の方々にお悔やみとお見舞いを申し上げたいと思います。私も先日、石川県の、地元の近藤議員と一緒に、避難所などに行かせていただきましたけれども、本当に大変な、厳しい状況でありますので、このことについては、党派を超えて是非とも被災者支援に取り組んでいきたいと思ひます。どうかよろしくお願ひをいたします。

それで、まず最初に、今、階議員からお話がありましたが、二階議員に関しては、二階事務所の秘書も立件をされております。今、階議員から話がありましたように、巨額の、五十億を超える政策活動費、脱税の疑いがあるのではないかと、様々なこれは深刻な問題をはらんでおります。

つひては、委員長、二階議員をこの予算委員会に参考人招致していただきたいと思ひます。

○小野寺委員長 理事会で協議いたします。

○山井委員 これはやはり、裏金問題と同時に、金権選挙、金で動く政治を変えて、クリーンな政治に変えていかねばと思ひます。金ではなくて国民の声で動く政治をつくるのは、与野党を超えた私たちの責務です。

先ほど階議員からもありましたけれども、我が党も先日、改革案をまとめさせていただきました、この配付資料二ページにありますように、階議員が話をしました政策活動費の廃止、そして政治資金収支報告書の不記載などについての議員と会計責任者の連座制、これは世論調査でも八七%の方が賛成をしておられます。でも、自民党は、全く、この連座制、やる気がなく、秘書が秘書がということにしておりますが、これは、野党もまとまって、是非ともこの連座制の実現のために力を尽くしていきたいと思ひます。

そしてまた、企業・団体献金の禁止の法案も二年前に私たちは国会に提出しております。

こういう制度論も議論したいのでありますけれども、先ほど大西議員からもありますように、まずは実態把握、全容解明、これなくして再発防止なしと言えらと思ひます。

先ほど岸田総理から、三十数名ぐらひではないかという話がありました。還流などキックバックなどによって、収支報告書不記載の議員であります。九ページですね、岸田総理。

それで、まず、改めまして、岸田総理、現時点で明らかになっている、還流などによる政治資金収支報告書不記載のいわゆる裏金議員、自民党で何人いるんですか。

○岸田内閣総理大臣 政治資金パーティーに関する今回の一連の問題に関し、政治資金収支報告書について不記載等の指摘を受けている国会議員、志帥会の政治資金パーティー関係では七人、清和会の政治資金パーティー関係では、これまで記者会見等で明らかにしている者でも三十人以上いると承知をしております。

○山井委員 三十人以上ということですが、ここのこの表は、別に私個人がヒアリングしたわけではございませんが、今まで安倍派、二階派で、そういう不記載があるという、いわゆる裏金について記者会見などで表明されて、マスコミで報道された議員のリストであります。

先週金曜日の時点においては合計三十九人、報道されているところでは三十九人、二階派、安倍派。さらに、この週末、高鳥議員、細田議員、山谷議員も公表をされましたが、とにかく、先週金曜日の時点では三十九人。

岸田総理、そもそも、何人いわゆる裏金の議員がいるかというのは、マスコミや野党が調べるべきものなんですか。岸田総理がまず一覧表を提出して、これこれの議員が、裏金が、不記載が幾らあります、そして、こういう使途に使いましたということを出し、国民に公表する責任は岸田総理にあるんじゃないですか。いかがですか。

○岸田内閣総理大臣 実態把握、党としてもしなければならぬ、これはそのとおりで思っております。

今、検察の捜査が行われ、それを受けて政治資金収支報告書の修正が行われつつあります。この収支報告の訂正によってより具体的に実態が明らかになっていくわけですが、それと併せて、党としても実態を把握して、政治責任について考えていかなければならぬと考えます。そのための聞き取り調査をこれから行ってまいります。

是非、党としても実態把握に努めてまいります。

○山井委員 例へば、安倍派、二階派だけでも、まだ百人近い議員の方々は分からないんですね、どうなのか。さ

つきも言いましたように、先週金曜日の時点で、マスコミ報道で三十九人。でも、岸田総理も、三十人以上、安倍派とか言っていますけれども、実際何人なのか。実態が分からなくて、再発防止策は打てないと思うんです。

これは釈迦に説法ですけれども、こういう問題のときは、実態、全容をまず把握する、それによって原因を解明する、その次に再発防止策、解決策を考える、これは当たり前だと思います。ところが、今の話を聞くと、総理が何人裏金の議員が自民党にいるかを正確には知らない。これはやはりおかしいと思うんです。

総理、来週、二月五日からは本予算の審議も始めたいと私たちも思っておりますし、私は、申し訳ないけれども、言いたいのは、私たちも本当は今日、被災者支援や物価高対策や社会保障の審議、大切な審議ですから、したいんですよ。全容解明の一覧表を出してくださいなんというのは、本当は私たちは今日までに出してくださいと求めていたんですよ。それを、私たちがこうやって、貴重な予算委員会の時間を使って、一覧表を、議員リストを出してくださいと言わせること自体、私は本当に、ある意味で被災地の方々にも申し訳ないんです。

ついては、どの議員が不記載、裏金をもらったのか、このことについて、一覧表の議員リストを、自民党総裁、岸田総理の責任で出していただきたいと思っております。いかがですか。

○岸田内閣総理大臣 実態把握と、そして再発防止と反省と、そして政治責任についてのけじめ、これは、現実においては並行して進めなければならない、これが現実であると思っております。

実態把握につきましても、先ほども申し上げましたが、検察による捜査が行われて、それに基づいて政治資金収支報告書の訂正が行われています。今、整理を行いながら、これから修正を行う人間もいる、これが現実であります。

捜査に基づいて修正が行われることによって現実がより明らかになるわけですが、それと並行して、先ほど申し上げているように、党としても、関係者の聞き取りを党の幹部が中心となって行っていきたいと思っております。そのことによって実態を把握する、それを公にしていく。

一覧表を作るかどうかも含めて、どういった形で党としてこの問題を整理したのか、説明責任も果たしていきたいと考えます。

○山井委員 岸田総理、おかしいと思われませんか。私やマスコミが裏金議員の一覧表をなぜ作らないと駄目なんですか。この全容解明の責任は岸田総理にあるんじゃないんですか。

今回の中間取りまとめでも、二ページ目に、政治資金規正法違反が問題とされた党所属議員や政策グループにつき、党として速やかな説明責任を果たし必要な対応を取ることを求めると。党として速やかな説明責任を果たすと書いてあるじゃないですか。裏金議員の一覧表を作るかどうかは別として、全容を公表するのは、繰り返して言いますよ、原因を究明し再発防止を考える前提じゃないですか。

百人以上の議員が、裏金があるのかないのか分からない。言いたくはないですけども、この予算委員会のメンバーの中にも裏金をもらっている可能性の人はいるかもしれないんですよ。

岸田総理、これは繰り返し言いますけれども、ぼろぼろぼろぼろ、今日この議員が記者会見しました、でもあと九十人は分かりません、そんな状況で、原因も分からないし、実態も分からないし、再発防止策の議論、しようがないじゃないですか。

これは言っただけなんですけれども、岸田総理は、年始早々から派閥の話にすり替えて、何か幕引きをしようとしてされています。しかし、一丁目一番地は全容解明だし、国民の皆様に対して、これこれの議員は不記載、いわゆる裏金がありましたということを説明して、用途も公開する、政治資金収支報告書も訂正する、その議員の一覧表、これを出さないということは、岸田総理が全容解明に不熱心、後ろ向き。全容解明をしないということは、再発防止策なんか意味がなくなってくるんですよ。やはりこれは、三十九人なのか、六十人なのか、八十人なのか、一億なのか、三億なのか、五億なのか、これによって原因や再発防止策も変わってくるんです。

これは総理、私は難しいことを言っていない。私、作業をしましたけれども、やはり、誰が政治資金収支報告書を訂正して、不記載が幾らからあったのか、いわゆる裏金はどの議員だったのかということ自民党総裁として速やかに発表する、そのことをお約束いただけませんか。

○岸田内閣総理大臣 先ほどから申し上げているように、実態把握が重要であるということ、私もそのとおりだと思っております。

そして、現実、実態把握をするに当たって、検察の捜査が行われ、法的な責任が追及され、そして結論が出される。この捜査は大変重要なことであり、強力なものであります。それに基づいて政治資金収支報告書の訂正が今行われている。これが明らかになることが実態解明において一つ重要なポイントであると思いますが、それと併せて、党として、説明責任そして政治責任、これを果たすためにどうあるべきなのか、聞き取り調査を進めてまいります。

党として実態把握を行うことは重要であるということを強く感じながら、今の作業を進めていきたいと思っています。

○山井委員 残念ながら、信用できないんですよ。この問題は昨日今日始まった話じゃないんですよ。昨年未から私たちは要望しているんです。

それで、残念ですよ、本予算の審議の前の重要な時間に裏金議員のリストを出してくれという質問をせねばならないこと自体私は残念ですけども、これはいつまでに裏金議員のリストは出してもらえるんですか。なぜならば、私たち、これから本予算、被災者支援や社会保障、物価高対策、大切な議論をする前に、リストを出せ、全容解明しろ、しない、しろ、しない、こんなことをやっていたら、これは本当に国民の皆様に対しても申し訳が立ちません。

来週月曜日、このままいけば本予算の審議が始まるのではないかと思います、それまでには裏金議員のリストを出すとお約束ください。

○岸田内閣総理大臣 先ほど申し上げたように、法的責任、説明責任、政治責任、これをしっかり果たすべく取組を進めてまいります。これを、現実問題、先ほど申し上げたような取組を一つ一つ進めていかなければ全容は確認できないと思います。

いつまでにそれができるのかということですが、これは、現実の、収支報告書の訂正を始め様々な取組を確認した上で、できるだけ全容把握を急ぐべく党として努力をしたい、このように申し上げるしかないと思っています。

○山井委員 私は難しい要望をしているんじゃないんですよ。統一教会のときにやったじゃないですか、各議員に統一教会との関係はどうでしたかといって。なぜ同じことを今回しないんですか、できないんですか。

明確に答弁していただきたい。本予算の審議までには不記載の裏金の議員の一覧は出してもらえるんですね。答弁ください。

○岸田内閣総理大臣 統一教会のときとは事案の性質が異なります。様々な関わり合いについてアンケートを取った統一教会と、今回、法的責任を問われている議員について確認をする、なおかつ、その内容について確認をするということについては、法的な手続と並行して、党として説明責任あるいは政治責任を果たすべく、作業を進めていきたいと思っています。できるだけこの作業は急がなければならないと考えています。

○山井委員 私は、はっきり言って、与野党を通じての思いは、この政治と金の問題は長引かせたくない、早急に全容解明して、原因究明して解決策を提示していく、そして、しっかりと被災者の支援や本予算の審議に挑むというのが与野党一致した意見だと思いますよ。

岸田総理の答弁を聞いていたら、じゃ、これは、二月末とか三月になってから、実は私、裏金三千万でした、五千万でした、百万でした、五百万でしたという人が何十人もまた出てくるんですか。そんなことはあり得ないじゃないですか。

政治と金の問題を長引かせたくないんです。実態把握、全容解明はそんなに難しいことじゃありません。岸田総理が聞けばいいだけじゃないですか。なぜ聞かないんですか。

いや、今、聞くと言っているじゃないですかとおっしゃったから、いつまでに聞くのか。来週月曜日から本予算審議に入る可能性がありますけれども、今週中に聞いて、その結果を発表するということがいいですか。

○岸田内閣総理大臣 関係者の数が多数に及ぶ、あるいは範囲の確定をどうするかなど、聞き取りにつきましても、どういった聞き取りを行うのか、至急調整をして始めたいと思います。

実態把握が大事だということは、全くそのとおりだと思います。そして、急がなければいけない、これもそのとおりだと思います。

しかし、それに現実、時間がかかるとしたならば、そうであるならばなおさら、実態把握と、そして再発防止と反省と、そして政治責任の追及と並行して進めることが大事だということを申し上げています。

是非、これらを並行して進めることによって、この問題、できるだけ早く一つの区切りをつけたいと思っております。

○山井委員 結局、派閥解消の議論の脇道にそらしていったら、裏金問題の再発防止、やる気が全くないと思われても仕方ありませんよ。実態把握、全容把握、できるのにやらないんですから。

これは、残念ながら、こんな議論は何回もできませんから、とにかく本予算までに裏金議員の一覧を出していただきたい、そのことを委員長にも要望します。

○小野寺委員長 理事会で協議いたします。

○山井委員 国民の皆さんもやられていけないと思いますよ。裏金だけでも怒っているのに、当たり前の話、誰が裏金を幾らもらったのかも、調べません、公表しません、調べると言いながら、いつまでですかと言ったら、分かりません。三月、四月までこんなことをやられたら、たまったもんじゃありませんよ。

もう一つ。安倍派の幹部の説明責任もあります。実態解明のため、安倍派幹部六人、松野議員、西村議員、高木議員、萩生田議員、下村議員、塩谷議員の予算委員会への参考人招致を求めたいと思います。

○小野寺委員長 理事会にて協議いたします。

○山井委員 もう時間が来ましたが、これは安倍派の若手の議員でさえ、やはり安倍派の幹部は説明してほしいと言っているんです。与野党対立じゃないんです。

この裏金問題の全容解明、実態究明、とにかく今週中に一覧表を出していただくということを要望して、私の質問を終わります。

ありがとうございます。